

中学3年生 授業概容

・国語

前期は入試に必要な基本事項を確実に理解、習得することを目標に読解演習、文法事項の総復習をし、後期からは実践演習を行います。どうしてこの解答がでてきたか、ポイントは何か、を分かりやすく指導していきます。宿題の問題をきちんと解いて効果を倍増させて下さい。日々の努力を怠らないことが大切です。毎週行う漢字テストは合格するまで受けるように指導します。じっくり考える力を養い、どんな問題にも挑戦していかれるようにしましょう。

県立の作文、指導も個別対応で行っていきます。得点源にしましょう。

また、面接練習も行います。

- * 受験対策の読解演習。
- * 毎週行う漢字テスト。合格できるまで。
- * 文法事項の徹底指導。
- * 古典、文学史の知識の整理。
- * 県立対策及び私立（学校別）対策。
- * 定期考査2週間前の対策問題演習。
- * 作文・面接の個別指導。

・数学

3年生での内容を塾独自のカリキュラムにより授業を進めます。クラスにより進度は多少異なりますが、夏期終了までに全クラス2学期の内容を一通り終了させます。2学期以降は大変重要な時期ですので、繰り返し学習することにより確かな力をつけていきます。そして、12月までには、全クラス3年の内容を全て終了させ、それ以降は、入試実践問題に取り組んでいきます。学校での進度により速いペースで進んでいくので、確認テストを必ず行います。理解不足の場合には補講を行い、弱点を克服するまで個別に対応していきます。

- * 冬期講習会からは全内容の総復習。
- * 12月からは私立高校の過去問対策。
- * 入試問題の実践演習。
- * 単元終了後のチェックテストによる理解度の把握。
- * 定期考査2週間前からの学校別、個別対策問題演習。

・英語

前期中、基礎クラスは1、2年の復習と3年1学期を重点的に指導していきます。

標準、応用クラスは3年間全般の学習の終了を目標に学習していきます。夏期講習において各クラスの目標、学習状況に合わせて、入試問題を学習しながら総合力をつける学習をしていきます。3年生の年間学習カリキュラムでは、中学での学習内容全般を3回から5回、問題のレベルを変えながら練習していきます。英語は学習した量によって確実に伸びる教科です。単語、熟語の学習をきちんとし、塾の課題を丁寧に学習していけば必ず合格につながります。本番の試験では、塾で学習したことが出題される喜びを味わえると思います。

- * 毎回行う英単語、英熟語テスト。合格できるまで。
- * 文法事項の重複学習。（年最低3回は繰り返します。）
- * テスト形式による過去入試問題の徹底学習。
- * 定期考査2週間前の個別、学校別対策問題演習。

・理科、社会

県立入試で得点源となるように基本問題から実践問題まで確実に学習していきます。毎回授業の中で基礎問題の小テストを行い、理解を定着させていきます。定期考査前は試験範囲の問題演習を行い、内申アップを図ります。

【前期 3～7月】	理科ー 3年1学期内容と1、2年の復習
	社会ー 世界地理、日本地理、歴史（近代～）
【夏期】全員受講	理科ー 1、2年の範囲と3年1学期まで
	社会ー 歴史、公民（政治）
【後期 9～12月】	理科ー 3年の範囲が終了
	社会ー 地理、歴史全般、公民（経済）
【冬期】	理社とも直前の総まとめ
【直前 1、2月】	理科ー 入試総合演習
	社会ー 入試総合演習

* 公立高校受験生は、直前日程の理社は必ず受講して下さい。

【家庭学習指導】

夏期より、全員に家庭学習テキストを購入してもらい、計画的に学習を進めていけるように指導します。少なくとも入試までには2回～3回は繰り返し学習するので必ず高得点が取れる教科になるはずで。